

| 16 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|---|---|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>1. 小規模特認校を子どもの学びの選択肢に</p> <p>【質問趣旨】 瀬戸市では小規模特認校として瀬戸市立掛川小学校と品野台小学校の2校が教育委員会から認定されており、2024年度から掛川小学校においては小規模特認校の制度が一部改正されることになっている。</p> <p>小規模特認校がどのような教育を実施する学校であるのか、また制度の改正で市の教育にどのような変化があり、子どもや保護者並びに地域にどのような効果をもたらすのかを明らかにする。</p> <p>更に教育委員会が責任をもって小規模特認校の周知や児童数の確保を行うことで、多様で豊かな学びが保障できる瀬戸市の教育の発展に繋がると考え、改正点や周知方法について改善を求め質問する。</p> | <p>(1) 小規模特認校制度について</p> <p>(2) 瀬戸市の小規模特認校制度の改正について</p> <p>(3) 小規模特認校制度の改正の課題について</p> <p>(4) 小規模特認校の児童数確保と周知について</p> | <p>① 現在、瀬戸市立掛川小学校と品野台小学校は小規模特認校として認定されているが、小規模特認校とはどのような学校であるか伺う</p> <p>② 瀬戸市で小規模特認校制度が導入された経緯を伺う</p> <p>③ 小規模特認校制度の導入により本市の教育にどのような変化・効果がもたらされてきたか伺う</p> <p>① 瀬戸市の小規模特認校制度が2024(令和6)年度から一部改正されると聞いているが具体的な改正点を伺う</p> <p>② 制度を改正することになった理由を伺う</p> <p>③ 改正によりどのような効果が期待できると考えているか伺う。</p> <p>① 小規模特認校への通学を希望する場合は、前年度の8月中旬が申込期限とされているが、他の自治体では申込期間を秋から冬に設定している自治体が多い。瀬戸市でも申込期間を後ろにずらすことで子どもや保護者に見学や検討するゆとりができ、選択の幅を広げることになると考えるが見解を伺う。</p> <p>② 小規模特認校に認定されている品野台小学校も掛川小学校と同様に、2024(令和6)年度から制度の改正が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>① 教育委員会によって認定された小規模特認校の児童数の確保について教育委員会は、学校と保護者そして地域と協力をして取り組む必要があると考えるが見解を伺う。</p> |

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|--------------|------------|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | | <p>② 現在、市のホームページでは校区外通学の 1 つとして小規模特認校が紹介されているが、別に取り出してこれまで以上に分かりやすく広く周知する必要があると考える。学校説明会や体験会の周知、申込みに関する情報提供などは教育委員会が積極的に行うことで、掛川小学校と品野台小学校が学びの選択肢として市内外に広がると考えるが見解を伺う。</p> |

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 16 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|---|--|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>2. 保育園の待機児童と育休退園を無くし安心して仕事と子育てが出来る瀬戸市に</p> <p>【質問趣旨】 昨年の秋から実施していた日本共産党瀬戸市議団の実施した市民アンケートや4月に行われた選挙の最中、また個別に寄せられた「保育園に子どもが入れないから働けない」「働かないと子どもが保育園に入れない」「今年の夏に子どもが保育園に入れないと復職できない」「復職予定だったけど保育園に入れなかったから復職を諦めた」などの声が今も引き続き届いている。 瀬戸で子どもを妊娠し出産した女性が働くことを諦めなくても良い環境を直ちに整え、保育園の待機児童と育休退園を解消することを求めて質問する。</p> | <p>(1) 育休退園について</p> <p>(2) 待機児童の実態について</p> | <p>① 子どもが在園中に親が育休を取得した場合、0歳児と1歳児クラスにいる上の子どもが退園しなければならない理由について伺う。</p> <p>② 以前は2歳児クラスの子どもも親の育休取得で退園しなかったが、現在は退園しなくても良くなった理由を伺う。</p> <p>③ 過去5年間で2人目以降の子どもの育休と同時に退園した子どもは、2018年度15人、2019年度12人、2020年度3人、2021年度6人、2022年度15人と聞いている。産後間もない母親が0歳児又は1歳児クラスに通っていた上の子どもを退園させて、乳児2人の子どもを日中も自宅でみることは容易なことではない。また一度退園してしまうと復職時に同じ園に入れるかどうか、復職のタイミングによっては入園できる確約がないため失業に繋がるリスクもある。育休退園は廃止する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>① 瀬戸市が愛知県に報告している過去5年間の4月1日時点の待機児童数は次のように聞いている。2019年度61人、2020年度38人、2021年度19人、2022年度0人、2023年度2人である。今年4月1日現在で保育園に入園できず待機しているお子さんは、2人のみだったということになる。県に報告している待機児童数と実際に保育園に入れず待機している児童の人数は一致していると考えて良いか伺う。</p> <p>② 待機児童として公式にカウントされない「隠れ待機児童」とはどのような状態のことをいうのか伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|--------------|------------------------------|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (3) 保育士の増員で子どもの保育と親の就労保障の充実を | <p>③ 瀬戸市の保育園 29 園の利用定員の合計 2,397 名に対して、受入れている児童数は今年の 4 月 1 日現在で 2,011 人と聞いている。受入れ児童数が定員より少ないのはなぜか伺う。</p> <p>① 「子どもが保育園に入れなければ親は働けない。しかし親が働いていないと子どもが保育園に入れない。」「就労見込みでは点数が低くて入園が困難。」など、働きたいのに働けない保護者から保育の充実を求める声が多数届いている。市はこのような実態をどのように受けとめているのか伺う。</p> <p>② 市は待機児童解消のためには「保育士不足の解消が必要である」と何年も前から繰り返している。昨年度今年度は例年よりも多くの正規保育士が採用されているが待機児童が解消されない。何か具体策を考えているか伺う。</p> <p>③ 保育士不足によって園児の受入れが困難となっているのは、民間園でも深刻な課題であるとする。市が実施している民間園の保育士採用のための支援策に加えて、瀬戸市の認可保育園で働く保育士の処遇に公立と民間とで格差が生じないように、市は一定の基準を示すと共にそのための財政支援等を国に求め独自の支援策を実施する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>④ かつては 22 園あった公立園が現在では公設民営の 2 園とあわせて 12 園に減っている。少子化は深刻な社会問題であるにもかかわらず、子育て世代が安心して子どもを産み育て、そして働き続けることが保障されていない実態を早急に解決するために公立園が果たす役割は非常に大きいと考える。今後は、保育園の民営化はやめ、保育士の配置基準と保育士の処遇改善を国に求めていく必要があると考えるが見解を伺う。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。